

INTERNATIONAL ROTARY DISTRICT2770  
ROTARY CLUB OF IWATSUKI  
since 1963



# Weekly Report



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブ・スローガン ~ 慌てることなく発展していこう ~  
誰かのため、謙虚に活力のある奉仕活動を

会長 田中芳明 例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日（月3回）  
幹事 小田光司 事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681  
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

田中年度 第24回

通算第2769例会

令和4年5月19日

## 会長挨拶 第59代会長 田中芳明

皆様こんにちは！  
2~3日前にネットにあった記事のことをお話したいと思います。あくまで企業による統計ですが、「日本一幸せな街」は埼玉県の鳩山町になったそうです。



埼玉県に長年住んでいるはずなのに読み方がよくわからずに調べてしまいました。「はとやまちょう」ではなく「はとやままち」です。正確には「埼玉県比企郡鳩山町」です。人口は僅か14000人ほどの小さな町です。高齢化率は全国平均の29.1%を大きく上回る45.5%、関越道は近くにありますが鉄道は通っていません、埼玉の陸の孤島と呼ばれているそうです。

それなのに何故「日本一幸せな街」なのかというと、まず、人間が生活の幸せを感じるにあたって、住む場所や建物は幸福度には関係がないそうです。よく昔から、住めば都とはよく言ったものです。人間が生きていくうえで幸福を感じるには、「生きがいを持つこと」、「社会参加をすること」、「健康であること」、この3つが大切だそうです。鳩山町はこの3つを行政が後押しすることにより健康寿命が延び、結果として介護費用などが抑えられ、その予算で待機児童をゼロにしたり、住民の高校生までの医療費無償化を目標に老若男女問わず幸せである街づくりを推進することにより「日本一幸せな街」になったそうです。どのようなことであれ各個人が生きがいを持つことが非常に大切なことは納得できます。

私達ロータリークラブは奉仕活動をする団体です。本年度のRI会長シェカール・メータ氏は、みんなの人生を豊かにするために奉仕することを生きがいとして活動されている方です。私自身、人生の幸福度を上げる為にロータリーを通じて又、ロータリアンでなくなったとしても人々に対して奉仕活動をする事に対して生きがいを持ち、社会に参加し続けられるよう行動していければと考えています。

さて、本日の例会は中村会員、田口会員による、青少年奉仕関係の卓話となっています。岩槻RCは米山や青少年交換など青少年とかかわる事業を現在、あまり行っておりません。以前、体験された会員よりお話を伺うことにより入会年度が浅い会員が身近に感じる事ができればと考えています。本日はどうぞよろしくお願いたします。

## 幹事報告 幹事 小田光司

1. RI 第2770地区 YouTube 動画「みらいの扉—まっちゃんネル—」のご案内が届いております。下記QRコードをお手元の端末にて読み取ってご覧いただけます。



2. ハイライトよねやま Vol266 がロータリー米山記念奨学会より届いております。
  3. 大宮北 RC、大宮東 RC、岩槻東 RC、大宮北東 RC から週報が届いております。
- 以上3点 よろしくお願いたします。



ZOOM  
出席  
鈴木隆  
会員

◆次回の例会◆ 令和4年5月26日(木) 鎌倉日帰り旅行 集合:7:15 埼玉りそな銀行岩槻支店前



### 卓話者 田口雅弘 会員

私が入会した平成17年頃、留学生の送り出しや受入、第3750地区との日韓青少年交換事業(正月が明けた頃に韓国の学生を受け入れ、春休みのタイミングで日本のインターアクトクラブ生が訪韓)、また、江原弘パスト会長(2004-2005)の年に締結した姉妹クラブである桃園経国クラブに、中村正会長年度(2008-2009)にはうちの子供も行かせてもらったりと、海外との交流がありました。会員の数が少なくなってくると、そういった奉仕活動も少なくなってしまうというのが現状で、8年間近く留学生交換事業はありません。

私が会長を務めさせて頂きましたクラブ創立50周年(2012~2013)の年に、米山奨学会から留学生の受け入れ要請がありまして、中国・雲南省出身のソシン君を岩槻ロータリークラブでお世話する事になりました。専任のカウンセラーは松永豪会員の御父様である元会員の松永兼治さんが務めてくださいましたが、当代の会長として私もソシン君と交流を深めることが出来ました。

皆さんご存知のとおり、米山記念奨学生を受け入れるためには、米山記念奨学会への寄付額が目標額(会員1人25,000円×会員数/年)に100%達成していなければなりません。ここ数年、岩槻ロータリークラブの寄付額は100%に満たない事、そしてコロナ禍もあり留学生の受け入れが無いということです。

以前、何回か青少年交換の話が出たかと思いますが、一つのクラブでその学生さんの生活を1年間みるのは難しい。しかし、米山奨学生の場合はすでに生活の拠点をもち、指定校の最終学年もしくはその1つ前の学年に在籍している正規留学生が対象です。月に一度、米山記念奨学会からの奨学金(学部課程10万円/月、修士・博士課程14万円/月)を例会時にクラブから留学生本人に授与し、その活動報告を聞き、交流を深めることができます。

日本に滞在している外国人留学生はアルバイトをして学費や生活費を賄っている場合が多いと思います。このコロナ禍で飲食店のアルバイトがなくなり退学するしかない学生も問題になっていました。そんな中、月々10万円・14万円の奨学金は彼らにとって大きな助けになります。

ソシン君の場合は、大塚製薬の奨学金をもらって長崎大学で学んだ後、東京理科大学に入学し、ロータリーの米山奨学生の試験に合格して岩槻ロータリークラブがお世

話することになりました。

就活や卒業論文に大きな時間を掛けなければならない学生最後の一年間に得られる奨学金は、我々が思っている金額以上に留学生からすると多大なお金だとよく言われます。米山奨学生が卓話に来て、奨学金のありがたさに思わず涙を流してしまう姿を見ると、自分たちの寄付が役立てられているのを身近に感じます。

米山奨学生世話クラブとしてのサポートが終わった後も、自動ドアを製造するナブコシステム株式会社に就職したソシン君の配属先・大垣工場が私の取引先から近い事もあり、付き合いが続きまして。2年前にナブコシステムを退職したソシン君は今、都内に住んで日本と中国の架け橋になるためNPO法人で働いています。

同世代の子供がいる家庭にとって、外国人留学生との接点は子供の教育に大きな影響を与えられると思います。ましてやコロナ禍において海外との距離が遠くなっている今日、違う文化に触れる機会は子供にとってとても良い刺激になります。

大人だけの家庭に学生を受け入れるのは難しい事もあるかと思いますが、留学生と同世代の子供がいる家庭だと、子供同士で交流する中で海外や英語に興味を持ったり、良い影響も受けるかと思っています。

米山奨学事業は寄付をすることで自分も、自分の家族も前向きな国際奉仕活動に繋がっているのかなと感じます。

創立50周年の時に中国からソシン君のお母さんをお迎えした時のことです。ソシン君がお母さんを日本に入国させるため、中国大使館や入国管理局に必要な書類と一緒にクラブの年度計画書を提出したところ、ロータリーは世界的に認知されている団体ということでスムーズに審査が通り、普通より短時間で入国許可が下りたことで、ソシン君のお母さんも大変喜んでおりました。

米山記念奨学事業や青少年交換はとっかかりはハードルが高く感じるかもしれませんが、機会が出来た時に一歩踏み出すと自分にとっても大きな成長を感じられる意義ある奉仕です。日韓青少年交換については近年、反日問題などもありますが、日本にやって来る生徒たちは一生懸命日本の歴史や文化を勉強している素直な子供達です。今後、留学生受け入れの話が出た時には、少しだけ前向きに考えて頂けたらいいのかなと思っています。

本日はこのような卓話の機会を与えて頂きまして、ありがとうございました。



ソシン君 (2012~13)



ソシン君とお母様

# インタラクティブ・青少年交換卓話



卓話者 中村 正 会員

## 国際ロータリーの青少年支援

ロータリアンの責務は、年齢 30 歳までの若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつよりよき未来を確実なものとするために青少年の生活力を高めることによって、青少年に将来への準備をさせることです。全てのクラブと地区は、青少年の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されています。基本的ニーズとは、「健康、人間の価値、教育、自己開発」です。



例会資料 2022/5/19

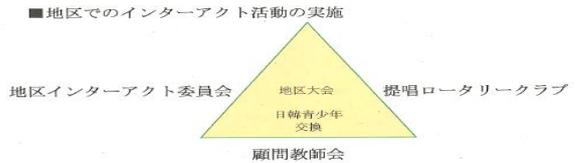
## インタラクティブ (INTERNATIONAL ACTION) 国際間の活動

- インタラクティブクラブとは !!
  - ボランティア精神と国際感覚を身につける
  - ロータリークラブにより提唱され 14 歳 (12 歳) ~ 18 歳までの青少年または高校生のためのプログラムであり学校や地域、海外とのクラブを通して活動する世界的規模でありロータリークラブと似ており提唱ロータリークラブの支援を受けインタラクティブは友達と楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び行動力を身に着けます。
- インタラクティブクラブの創立
  - 1962 年 メルボルン高校 (米国フロリダ州)
  - 日本 1963 年 6 月 仙台育英高校 (宮城) ・ 仙台東 R C 会員 100 名 世界最多の会員数
  - 西京高校 (京都) ・ 京都西 R C
  - 現在 世界 16,400 クラブ 国内 586 クラブ
  - ブラジル・インド・フィリピン・米国に多い
- 2770 地区 33 クラブ (活動停止中 11 クラブ)
  - 当地域では私立・市立高校が積極的に活動中
  - 他のクラブと併用 埼玉栄 ・ 吹奏楽部
  - さいたま市立 ・ 英語部
  - 同好会 ・ ・ ・ ・ クラブ予算が取れない
  - 岩槻高校インタラクティブクラブ (提唱 岩槻 R C) 創立 1994 年 6 月 25 日 認定伝達式 1995 年 2 月 20 日
- インタラクティブクラブの資金源
  - 奉仕活動を実践して得る (募金活動等)
  - 提唱ロータリークラブからの助成
  - ☆ 岩槻高校 ・ クラブからの助成金 (年度末 I A クラブの決算を確認し助成)
  - ・ ・ ・ ・ パザー収益金 (岩槻祭り・学校文化祭)
  - ・ ・ ・ ・ その他 募金活動等

- インタラクティブでできること
  - インタラクティブはたくさんの方の活動に触れリーダーシップを学ぶ事が出来ます。
  - ・ 学校や地域 (地元) でボランティア活動
  - ・ 異文化について学び国際感覚に貢献
  - ・ 学校・地域でリーダーシップを発揮することが出来る。
  - ・ 世界中に友達を作ることが出来る。
- 目標
  - 建設的な指導力を養成し、自己の完成を図る。
  - 他人へ対する思いやりと、他人の力になる心構えの奨励と実践
  - 家庭と家族の重要性の認識と涵養
  - 各自の責任を果たし、懸命に努力する。
  - 全ての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとしてその品位と価値を自覚する。
  - 地域社会、国家及び世界の問題についての知識と理解を深める。
  - 国際感覚と親善の推進等を行う。

- インタラクティブの活動
  - 年 2 回のプロジェクトを → 学校・地域 国際理解
  - 世界インタラクティブ週間 (11 月 5 日含む一週間)
  - イベント等に参加し地域へ P R する (地区・クラブで)
  - ★ コミュニケーションの大切さ
  - インタラクティブクラブと提唱クラブ間のコミュニケーションが重要なプログラムの健全性と発展の鍵
  - 例 ・ ・ ・ 提唱クラブが学校へ出向きクラブの活動実態を

見る事も大切。(例会 一式の備品あり)  
 ・ ・ ・ 学校側の理解が重要 校長・顧問教師



地区大会参加 (青少年プログラム実施)  
 インタラクティブ・ロータリー・米山奨学生・ライラ研修生  
 青少年交換学生・ロータリー財団

募金活動 大宮駅・浦和駅・さいたま新都心駅

日韓青少年交換

派遣 → 第 3750 地区 (京畿道) 学生 40 名 顧問教師 4 名  
 1 週間 地区委員会 5 名 (訪韓団長含む)  
 学生・顧問教師 現地ホームステイ 歓迎会  
 ロータリアン ホテル滞在

受入 → 第 3750 地区より 派遣とほぼ同数  
 各クラブにホームステイ依頼 提唱クラブに約 2 名程度  
 インタラクティブ協議会と歓迎会を実施  
 輪番制によりホスト校と提唱クラブが実施  
 岩槻高校 第 14 回 2002 年 1 月 13 日実施  
 その後 1 度実施

年次大会

毎年 8 月実施 第 15 回大会ホスト  
 岩槻高校 2002 年 8 月 3 日 現市民会館にて実施 500 名  
 講演会「それぞれのバリアフリーについて」  
 関根善一氏 ソングライター 脳性小児麻痺  
 分科会でインタラクティブが討議

☆ 活発なインタラクティブクラブ

市立浦和高校 ・ ・ ・ 「国際交流」 韓国研修・日本語国際センター  
 で開催される韓国の中学、高校日本語教師  
 との交流  
 「奉仕活動」ユネスコ協会からのネパールの奨  
 学里親プロジェクトで翻訳ボランティア実施  
 「英語運用能力の向上」 国際理解・交流に必要  
 とする英語力を鍛える。  
 ディベートでの取り組み ・ ・ ・ 世界の問題点  
 平和・正義 等の基本的理念から  
 世界の問題解決に取り組みグロー  
 バルに活躍できる人を目指す。  
 埼玉栄高校 ・ ・ ・ 吹奏楽クラブがインタラクティブクラブと併用

■ 韓国研修の思い出等

- ホームステイ
- 観光について
- 研修後の交流

参 考

☆ ロータリーアクト (Rotaract)

18 歳 ~ 30 歳までの青年男女のためのプログラム  
 設 立 ・ ・ ・ 地域社会と大学が基盤 → ロータリークラブが提唱  
 (真の奉仕のパートナー)  
 全国初、国際商科大学 (川越) ・ ・ ・ 仙台育英高校 I A  
 地区内 10 クラブ 独協大・文教大・共栄大等  
 年次大会は輪番制で実施

☆ ライラ (RYLA) Rotary Youth Leadership Awards  
 ロータリー青少年指導者養成プログラム

ロータリーが実施する若い人達の為の研修プログラム  
 対象 14 歳 ~ 30 歳 年齢を絞る

目的 ・ ・ ・ リーダーシップ 良き市民、人間としての成長に期待  
 クラブ推薦 高校生・大学生・社会人  
 参加費用 半額 ロータリークラブ助成

○ アイデアに富んだ RYLA を計画

変化し続ける社会にふさわしいライラプログラムを企画。  
 若いリーダーの育成を重視し多様性を尊重し、持続可能な変化  
 をもたらし、奉仕の精神に満ちた世界市民となるよう取り組  
 むこと。

これまでの研修先  
 沖縄・鹿児島・熊本・北海道・秋田・伊豆等  
 ☆ 年齢の垣根を越えた団体研修 3 日間

○ 危機管理

学生の安全を確保し、危機管理を行う。  
 地区青少年交換役員等、青少年保護役員、ガバナーは政情不  
 安、自然災害、犯罪、病気、けが等の事態に備え危機管理を行  
 う。

青少年保護と危機管理

ロータリー関連の活動では、青少年の安全確保が  
 最優先される。ライライベントを実施する前に青少  
 年保護研修セミナーに参加する。  
 青少年と接する際の行動規範と学生の安全と危  
 機管理に関する詳細をロータリーの青少年保護の  
 手引き等で確認する

☆青少年交換

目的・中高生を対象とし、親善交流を通じ、国際理解、世界平和の推進に寄与することを目的とする

資格・14歳～17歳（中高一貫校で高校の承認は可能）  
校長推薦やロータリークラブのスポンサー承認を得ると共に心身健康で海外生活に積極的に参加する意欲があること

派遣・受入れ機関・・・1年

費用・滞在中の生活費、往復航空券、保険料、若干の所持金等で80万～100万程度

- 岩槻ロータリークラブでの派遣・受入れ  
これまで14名 オーストラリア  
アメリカ・フィンランド  
カナダ・デンマーク等
- ・派遣・受入れにカウンセラーつけて留学生とホストファミリーとの連絡調整を行う。
  - ・受入れ毎にホストファミリー 4軒～6軒
  - ・受入れ高校 岩槻高校等
  - ・受入れにあたり 日本の文化に触れさせるお客様扱いしないこと  
なるべくホストとの時間取る。

☆米山奨学生（米山記念奨学金制度使用）受入れ

東京RCが奨学事業発案 1952年初の奨学生  
8名採用 1958年

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する民間奨学団体。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援するもの。

2021年度 人数 全国 910名  
これまでの国内累計 22,367人

★岩槻RC 14名 韓国・中国・台湾他

米山事業への寄付は、普通寄付 5000円  
特別寄付 20,000円

（みなさんのクラブでの寄付達成によって奨学生受入れが左右されます）  
3年前のクラブ寄付額等参考

☆ロータリー財団奨学生の派遣

財団プログラムの資金等の活用による事業  
優秀な成績の学生

（名簿は年度計画書参照）これまで3名留学  
1名は神作直明氏の奨学基金によりイギリスへ留学

11月5日を含む1週間は世界インターアクト週間



インターアクター  
どんな時も地域に奉仕、国際交流

高校日本一の英語ディベート力の世界に挑む

さいたま市立浦和高校 IAC



写真右下：オンラインで開催された今年7月の国際ディベート大会。審査員上、右：過去に開催された大会でディベートするインターアクター

クラブでは、国際交流に力を入れ、模範国連大会や、アメリカのスタンフォード大学が実施する相互文化理解のためのオンラインプログラムに参加したり、G20（主要20カ国・地域）首脳陣に向けて、Y20（Youth20、G20各国などのユース代表により構成）の一員として政策提言したりといった活動を行っています。最近では、武力や暴力ではなく、話し合いで問題を解決していく「健全な市民の育成」と「世界平和の実現」のため調査研究をし、英語ディベートに取り組んでいます。

昨年は日本最大規模の大会「第15回全国高校生英語ディベート大会」に埼玉県代表として参加しました。「化石燃料自動車の是非」を問う論題で、各都

道府県の代表64校との激戦を制し、4度目の全国優勝を達成することができました。今年7月には、アジア各国のナショナルチームが競う、マレーシアで開催されたAWSDO（ASIA WORLD SCHOOL DEBATE OPEN 2021）国際ディベート大会に日本代表としてオンラインで出場。世界中の高校生たちと世界の社会問題や世界平和について議論を交わしました。

文化、言語、宗教、習慣など異なるバックグラウンドを持つ高校生たちが交流してお互いを尊重し、理解を深め、ディベートを通してアウトプットできる社会知識を増やし伝えることは、より異文化理解につながると思っています。（第2770地区 埼玉県）

点字カレンダーを作製

藤枝順心高校 IAC

例年、点字カレンダー作製や献血ボランティア、赤い羽根共同募金、ポリオ根絶のためのプロジェクトに参加する活動をしています。点字カレンダーは、季節の花の名前と花言葉、花のイラストを入れて一つ一つ丁寧に手作業で仕上げ、毎年12月末に、全国の盲学校・特別支援学校へ寄贈しています。昨年度は、271部を作り上げることができました。今後も、多くの人の役に立てるような活動を続けていく予定です。（第2620地区 静岡県）



姉妹クラブ 桃園経国RC21周年



会長 張玉春 様  
(Yuly)



会長エレクト 陳永來 様  
(PE Steven)

2022年5月4日桃園経国ロータリークラブ創立21周年記念式典が開催されました。誠にありがとうございます。

写真提供：鈴木隆会員

スマイルBOXより

- 小田光司 中村会員、田口会員、卓話よろしくお願ひ致します。
- 小林利郎 卓話よろしくお願ひいたします。
- 小林佑次 卓話よろしくお願ひします。
- 田口雅弘 よろしくお願ひします。
- 田中芳明 青少年卓話楽しみにしています。宜しくお願ひ致します。
- 田畑寛樹 皆様こんにちは。中村会員、田口会員、卓話楽しみにしております。皆様本日も何卒宜しくお願ひ申し上げます。
- 出山知宏 よろしくお願ひします。
- 内藤 明 中村さん、田口さん、卓話楽しみにしています。
- 中村 正 卓話させていただきます。
- 三浦宣之 卓話よろしくお願ひします。

スマイル報告

本日のスマイル合計	15,000円
年間累計額	549,000円

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
28	11	1	4	57.14%

リモート出席でのスマイル送金 埼玉りそな銀行岩槻支店 (普)1445466 岩槻ロータリークラブ

発行：会報・広報委員会 副委員長 内藤 明 委員 中村 正 田畑寛樹 岡野育広